

～文化政策史研究会～

開催のご挨拶

日本の文化政策に関しては、近年文化史、近現代史、教育史など様々な領域で個別に研究が進められていますが、明治期から現在までを視野に入れた通史的・包括的な文化政策研究は、これまで体系だった形で行われてきませんでした。

そのような、いわば「文化政策史」の視点に立った研究を模索してゆくために、昨年、関心を持つ若手研究者・大学院生を中心としたメンバーが集まりました。一年あまりにわたる勉強会を通じ、私たちの課題が既存の学問領域・方法論との関連をもつ分野であることはもちろん、近年の文化政策の進展からみても、「歴史」研究にとどまらない極めて現代的な課題である、との認識を深めてきました。

そこで、これまで私たちが行ってきた個人研究及び集団討論のプロセスを公開・共有することで、文化政策を論じる枠組みについてより豊かに議論を構築していきたいと考え、このたび公開勉強会を開くことといたしました。内容は、研究会メンバーの報告と、それを受けて関連分野の第一線の研究者を討論者に迎えての対話で構成します。もちろん参加者との質疑の時間もとりたいと考えております。第1回の予定は下記の通りです。参加ご希望の方は下記の方法でお申し込み下さい。多くの方の参加をお待ちしています。なお、本研究会は今後数回にわたり開催の予定です。

記

日 時： 2005年7月9日（土） 午後6時～午後7時半

場 所： 東京大学本郷キャンパス 山上会館地階会議室001

内 容： 「戦争期日本の文化外交と宝塚少女歌劇団の海外公演」

- ・ 報告者 — 朴祥美（パク・サンミ、プリンストン大学大学院博士課程。論文に「『帝国文化』を踊る：崔承喜のアメリカ公演とアジア主義」『思想』2005年第7号、岩波書店（近刊）など。）
- ・ 討論者 — 戸ノ下達也（とのした・たつや）氏
（洋楽文化史研究会。近著に「戦時下のオーケストラ——日響・東響・大東亜響の活動にみる」〈渡辺裕・増田聡編著『クラシック音楽の政治学』青弓社、2005）など。）

参加費： 100円（資料代として当日徴収いたします。）

参加申込： 下記連絡先までメールまたはFAXにて
お願いいたします（「公開勉強会参加希望」
とご記入の上、お名前・所属を明記ください）。

- ・ メールアドレス
… bunkaseisakushi@yahoo.co.jp
- ・ FAX … 03-5841-1251

申込期限： 7月7日
（会場の都合により先着20名とさせていただきます）

お問合せ： 新藤（bunkaseisakushi@yahoo.co.jp）

主 催： 文化政策史研究会
（小林真理、宮崎刀史紀、新藤浩伸、永島茜、
武田康孝、ルー・スーメイ、パク・サンミ）



会場案内図

地下鉄丸ノ内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅
地下鉄南北線・東大前駅より徒歩10分